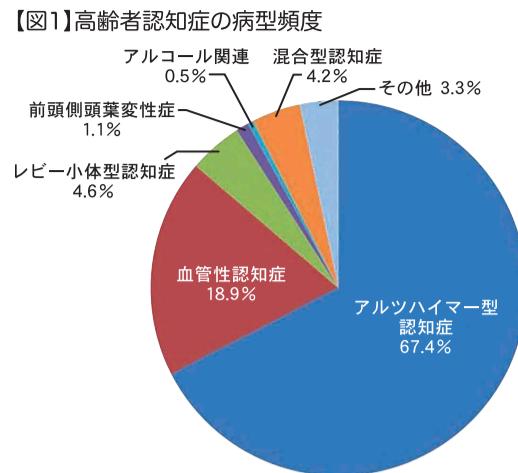




認知症について②



【出典】国立長寿医療研究センター もの忘れセンター発行『認知症はじめの一歩』P.12

【図2】主な認知症の特徴

	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭葉認知症 (前頭側頭葉変性症)
好発年齢	40~60歳、75歳以上の二つの山がある	なし	60~70歳	50~60歳
男女差	やや女性が多い	男性が多い	やや男性が多い	なし
初期の症状	・記憶障害 ・遂行機能障害	・記憶障害 ・運動麻痺	・パーキンソン病状 ・睡眠障害 ・抑うつ	・言いたい言葉が出てこない ・意欲低下 ・脱抑制的行動 ・記憶障害
特徴的な症状	体験した出来事にまつわる記憶の障害	階段状、突発性の症状変動	・症状の日内変動が大きい ・転びやすい ・幻視 ・睡眠時異常行動	・失語 ・常同行動 ・食行動の異常 ・病識の高度の消失
経過	緩やかに進行	段階的、突発的に悪化する時期も、進行がほとんど見られない時期もある	変動しながら進行	緩やかに進行

【図1】高齢者認知症の病型頻度

認知症の原因は数多くあります。その中で最も多いのがアルツハイマー型認知症です。血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症、アルコール関連などがありますが、とりわけ、ハイマー型認知症で最も多くあります。血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症がそれです。

【図2】主な認知症の特徴

【図2】主な認知症の特徴